

「上山城」からのたより 初冬・第148号

チェロの音色につつまれる

(公財)上山城郷土資料館 事務局長 増戸隆子

イタリアの農村にはオペラハウスがあり、週末にはよそゆきに着替えた村人たちが、オペラ鑑賞に出かけると聞いたことがあります。とても素敵だと思いませんか。

過日、チェロの音色を聴きに、上山城に人々が集まってきました。

ウル・シャトー・かみのやまミュージックキャンプのミニコンサートが行われたのです。ちょっとオシヤレをしたご婦人たちの来場に華やいだ雰囲気がありました。ミュージックキャンプは夏休みを利用しての公開レッスン。受講生や関係者はワクチン接種やPCR検査を受け陰性の確認をしてから参加するなど、感染症対策を講じての開催となりましたが、受講生の背中には大きなチェロケースがあり、月待坂を行き来する未来の音楽家たちは、

上山音楽ウル・シャトー・かみのやまの文化的な匂いのある景色を作り出していました。

自然豊かな上山で過ごす中で生徒さ



んたちの感性が磨かれ、レッスンを集中的に重ねることで、技術と共に表現力が高まるそうです。私たち聴講者も感受性が豊かになっていくのでしょうか。幸せな気分でも過ごせた素敵な8日間でした。

11月3日は文化の日。そして上山城の開館の日でもあるんです。来年は築城40周年を迎えます。これまで様々な企画展を開催し、お城まつりでは伝統芸能や吹奏楽の演奏、合唱、邦楽演奏、詩吟などなど、地域の方々の文化活動の披露の場ともなってきました。

毎年春に開催されている公開レッスン、そしてコンサート。チェロの音色に包まれる時間はとても心豊かなひと時。そんな時間を過ごせる上山は、なんと素敵なお町でしょう。「心と体がうるおうまち」には音楽もお似合いです。

【常設展示室から】抽選で景品が当たるクイズ上山城探検を毎月実施中。クイズを解きつつ、ご見学をお楽しみください。